

「日本版 BPSD ケアプログラム」 アドミニストレーター研修

認知症ケアの質の向上を目指すための研修のご案内

研修概要

内容：認知症のBPSDへの理解と科学的根拠に基づいた対応力を身に着けるための
アドミニストレーター養成研修

受講料：無料

本研修は、「認知症チームケア推進加算」の要件となる「認知症チームケア推進研修」に該当する研修です。

研修内容

アドミニストレーター養成研修とアドミニストレーターフォローアップ研修どちらも受講すること

1 アドミニストレーター養成研修(eラーニング研修) 約4時間

2 アドミニストレーターフォローアップ研修(オンライン) 半日2日間

研修実施期間


1 eラーニング研修 令和8年7月6日(月)～令和8年7月31日(金) (期間中に受講)

2 フォローアップ研修 1日目 令和8年8月5日(水) 午前・午後 いずれかに参加

2日目 令和8年9月30日(水) 午前・午後 いずれかに参加

申込み

港区 保健福祉支援部 高齢者支援課 高齢者相談支援係へお電話ください

 03-3578-2316

受付期間

令和8年6月1日(月)9時～令和8年6月30日(火)17時まで

問合せ

研修実施主体

東京都福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課 認知症支援担当

 03-5320-4276

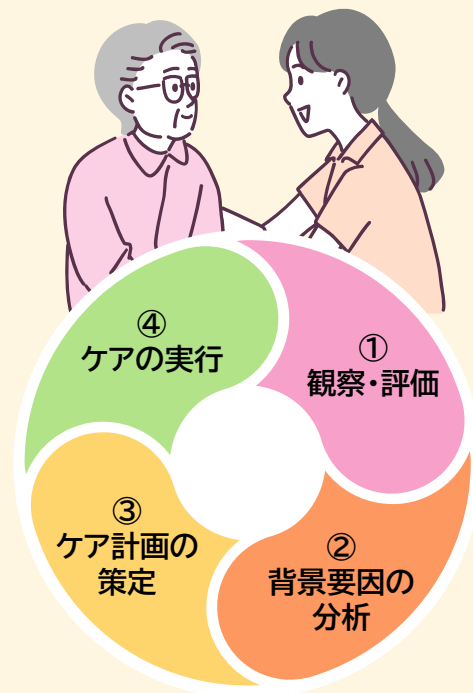
研修窓口

港区 保健福祉支援部 高齢者支援課 高齢者相談支援係

 03-3578-2316

日本版BPSD※¹ケアプログラム(以下「ケアプログラム」といいます)とは、東京都が(公財)東京都医学総合研究所と協働で開発した、認知症のある人の興奮や妄想などの行動・心理症状(BPSD)を「ご本人のSOSサイン」と捉え、一人ひとりのニーズにあった認知症ケアを実現する科学的根拠に基づくケアプログラムです。

- このプログラムでは、①NPI※² 評価尺度BPSDの観察・評価、②背景要因の分析、③BPSDに対応したケア計画の策定、④ケア計画に基づくケアの実行という4ステップを繰り返し、オンラインシステムを活用しながらチームで一貫したケアを実践し、BPSDの状態変化を「見える化」することで、認知症ケアの質の向上を目指します。
- 研修を受講してアドミニストレーター※³となれば所属する事業所でケアプログラムを利用することができます。
- 本研修は、令和6年度介護報酬改定で新設された「認知症チームケア推進加算※⁴」の要件となる「認知症チームケア推進研修」として実施しています。



※¹ BPSD

(Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)

認知症患者に頻繁にみられる知覚、思考内容、気分、行動の障害の兆候。不安、うつ、怒りっぽさ、幻覚、妄想、徘徊など。

※² NPI(Neuropsychiatric Inventory)

BPSDの評価において国際的に広く使われており、妄想、幻覚、興奮、うつ、不安、多幸、無関心、脱抑制、易怒性、異常行動、夜間行動、食行動の項目について、それぞれ頻度、重症度を評価する。点数が高いほど頻度、重症度が大きいことを示している。

※³ アドミニストレーター

ケアプログラムを利用し、認知症の行動・心理症状(BPSD)に対するチームケアの中心となる役割を担います。

※⁴ 「認知症チームケア推進加算」の対象となる施設

認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院。

介護事業者向けセミナー(アーカイブ配信)

※本ケアプログラムの内容や効果、現場での実践方法について理解を深めるためのセミナー(約1時間)をYouTubeで限定公開しています。

■視聴までの流れ

①下記URLまたはQRコードからお申込み

<https://logoform.jp/form/tmgform/1535623>

②視聴用URLをメールで受信

